

子ども向け用紙全体について			
	種別	意見	調査票（案）の考え方
1	アンケート用紙の対象者と文章の分量などについて	・子ども用アンケート用紙の対象年齢層の広さが気になる。出てきた結果を子ども全体として把握するよりも、児童期の問題、中高生の問題にフォーカスしたほうが結果を生かしやすい。ページ数を減らしてでも、小学生に聞きたいこと、中学生に聞きたいこと、高校生に聞きたいことに絞ったほうが効果的だと思う。	小学生用、中・高校用と分けることとして、質問内容を精査しました。
2		・小学生は、文字の量や大きさで、回答の意欲に影響を受ける。例えば、子ども用アンケートの問7（熱中していること）の選択肢に、小学生は選ばない「アルバイトをしているとき」が含まれているように、小学生には不向きなものも多いので、選択肢を精査して小学生の負担を軽減したほうがよいと思う。そのためには、調査票を小学生用、中学生用、高校生用の3部か、少なくとも小学生用と中学生用の2部に分けたほうがよいのではないか。	
3		・小学生と中学生用で回答できるボリュームに差があるので、アンケート用紙は共通にして、小学生は前半だけ回答して終了、中学生は後半も回答、とすればよいのではないか。	
4		・子ども用は、ボリュームが多いのではないか。	
5		・今の内容は小学4年生には難しい。6年生でもどうかと思う。	
6		・言葉の表現も小学生には難しいところが多い。	
7	フリガナについて	・1回フリガナを付けても、2回目と同じ漢字にフリガナがついていないと、それで難しくなる子どもがいる。フリガナがあっても、文字が多いといやになる子どもがいる。抽出による郵送調査となると、子どもには難しいかもしれない。	すべてにふりがなをつけた場合、行間が詰まった印象を受けるおそれがあるため、小学生用には4年生で習う漢字から、中高校生用には小学校で習わない漢字にふりがなをつけています。繰り返し出てくる漢字にもすべてふっています。
8		・小学生には、すべての漢字にふりがなが必要なのではないか。	
9	イラストなどについて	・字も質問の量も、特に小学生にとっては多いので、字体をやわらかいものにする、イラストを入れるなどの工夫が必要。	小学生用には空いたスペースに、ワンポイントのイラストを入れることとしました。
10	アンケートの表紙の表現などについて	・問合せ先の標記について、「子どもの権利推進課へ問合せをしてください」などと呼びかける文章にしたほうが良い。	表現を修正しました。
11		・題名を「札幌市からアンケートのお願いです。協力して下さい」くらいのわかりやすい表現にしてはどうか。	題名はこのままとし、その下にあるアンケートの主旨を記載した本文でわかりやすく説明できるように修正しました
12		・リード文は短く要点だけでよいと思う。保護者の方への中で、詳しく説明したらどうか。	小学生向けについては囲みも含めて保護者に対する説明としました。
13		・「回答のしかた」と「なぜあなたにこの調査が？」の枠を入れ替えて回答のしかたを上にもってきたほうが良い。	「なぜあなたにこの調査が？」については、アンケートの主旨を記載した本文を読んだ方が疑問に思うことについて説明を加えるものですので、すぐ後に表示したほうが良いと考えます。
14		・問い合わせ先は、このアンケートについてわからないことがあったら、子どもの権利推進課（全部のせるのは長い、正式名称は封筒などにも掲載されているはず）に電話して聞いて下さいとして、電話とファックスだけを載せたら良いと思う。ここに住所はいらぬのではないか。	住所は削除しました。
15	・中学生なら親に頼らず自力で回答しようとするが、それでも意味が分からなくて困ることもあると思うので、電話、できればフリーダイヤルで問合せができるようにしてはどうか。	問合せに関する表現を修正しました。	
16	アンケートの実施・回収方法について	・小学校、中学校、高校のホームルームでアンケートを実施すれば、回答が集まりやすいと思う。友だちの中には、アンケートが届いても面倒で回答しなかった人がある。学校の授業の合間でやると答えやすく良いと思う。	今回は、抽出調査のため、郵送による回答方式としました。
17		・返信は郵送となっているが、HPからも返信できた方が良い。	例えば、家族や友人間で複数回答する場合などを防ぐ意味で、郵送方式としています。
18	設問について	・将来についての「希望」をどのように感じているかについての設問があると良いと思う。	平成19年度の「子どもの安心と救済に関する実態・意識調査」における調査項目に、「将来やってみたいことなどの夢があるか」の設問を設けており、この調査が参考にできると考えることから、質問全体の分量を考え、今回は見送ることとしました。

新項番	旧項番	項目	新規・経年	意見	調査票(案)での考え方	
基本項目						
1	1	性別				
2	2	学年等		<ul style="list-style-type: none"> ・学年と今の状況を一度に問うているが、例えば不登校で1年以上学校へ行かない子どもがどのように感じるか心配に思うので、年齢(学年ではない)と状況の2つに項目を分けたほうがよいのではないか(H19年度安心救済調査の設問)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもについては、学年ごとの特徴(新入生、受験生)に基づく傾向を把握するために、学年について質問を設けています。 ・フリースクールに通っている子どもは、学年を選択すべきなのかどうか迷うので、「フリースクール」という選択肢は中学卒業後の高校以外の進学先を示す内容に変更します(フリースクールに通っている中学生は学年を選択することを想定)。 	
ふだんの生活について						
3	3	普段の生活の中で、ホッとでき、安心していられるのはどこか	青少年基本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる場所の選択肢として「家」や「学校」などとあるが、詳しく「自分の部屋」、「家族の集まる居間」、「友達の家」、「教室」、「保健室」などを選択できるようにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭」、「学校」、「地域」のそれぞれの選択肢を、主に友だちと過ごす場所と、主に一人で過ごす場所に細分化して、安心できる居場所について質問する形に修正します。 	
4	4	日ごろの生活の中で困っていることや悩みごとがあるか	青少年基本調査 選択肢新規	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の設問の選択肢は、困っていることの内容が「家庭のこと」、「友だちのこと」などと大枠の質問になっているので、回答の結果を検討に生かすににくい。家庭あるいは友だちとの関係における、どのような問題で悩んでいるのか具体的に選択肢に列挙すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人用問7の選択肢をカバーしながら分割・具体化する内容に修正します。(大人用問7の選択肢のうち、「不登校」は、子どもにとっては不登校の原因となるものが悩みであると思われるので、選択肢には加えません。「地域のこと」については、大人用問7に選択肢がないので削除します。) 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢を具体的にしたほうがよい。 		
				<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の問題については、経済的不平等感・不自由についての声を聞く欄がないので、塾や大学に行きたいけど行けないなどの問いがあれば良い。ただし、この問いに盛り込むべきか、あるいは独立した設問にするのかは、考える必要がある。 		
5	5	悩みごとをまずだれに相談するか	青少年基本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みごとを相談する相手は、内容によって違うと思うので、回答は1つを選択するのではなく、複数にしたほうがよいのではないか)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数を選択するように修正します。 ・「メル友やネットでの友だち」、「児童会館の館長・指導員」、「電話相談などの相談員」を追加します。 	
6 (中高生用)	6	自分のことをどう思うか	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の項目に問題はないが、「自分を好きか(自己肯定感)」を聞く項目を追加するべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感(自己信頼感)は複数の要素から成り立っており、自分が好き=自己肯定感が高いと一概には言えないと思われるが、基本的な状況の推移を見るという主旨から、項目を加えることとします。 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度安心救済調査に同様の設問があるが、選択肢の1番目の項目が「自分のことが好きだ。」から「自分を大切に思ってくれる人がいる。」に変更されている。その理由を教えてください。 		
				<ul style="list-style-type: none"> ・大人にも同じ質問をすると良いのではないかと。H19年度安心救済調査では大人に対して「子どもの自己肯定感の有無」と「大人自身の自己肯定感の有無」という設問がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度安心救済調査では基本的にすべての設問について子どもと大人を対比する構成としていますが、今回の調査は、子どもの権利についての自身の認識を問うものであり、大人にも同様の質問を設ける必要性は低いものと考えます。必要に応じて同調査の結果を引用することで、状況把握することが可能であると考えます
				<ul style="list-style-type: none"> ・次のようなことを思いますかという聞き方は、小学生にわかりづらいと思うので、「あなたは自分のことについて、それぞれあてはまるものに一つだけをつけてください」としてはどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・設問の文章を修正

関心を持っていることや体験したことについて					
7 (小学生6)	7	熱中したり夢中になれるのはどんなときか	青少年基本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの野外体験の有無を聞く問8の選択肢にある虫を捕まえることや、木登りなど(一人で遊ぶこと)に熱中している子どもがつける選択肢がないので、少なくとも「一人でいるとき」という選択肢を追加してはどうか。 ・夢中になることの選択肢の中で「家族といるとき」とあるが、「家族と をしているとき」のように何をしているときかを選択できるようにしたほうがよいのではないか。 ・夢中になることを一つだけ選ぶのは厳しいと感じるが、一つだけを聞く理由があるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な行為の内容によって選ぶとする場合に選択肢の1～4、8～12の中から選択し、具体的な内容よりも人間関係によって選ぶとする場合に5「家族」、6「友だち」から選択することを想定しています。なお、5、6の選択肢の表現を修正しました。 ・複数を選択するように修正します。
8 (小学生7)	新規追加	放課後や休日をどのように過ごしたいか			<ul style="list-style-type: none"> ・問3(ほっとできる場所)や問6(熱中すること)に関連して、子どもが放課後や休日をどのように過ごしたいと考えているのかを知ることが必要であると考え、新たに項目を設けました。
9 (小学生8)	8	次のような体験をしたことがあるか	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢の文末の「こと」は、はずしてもいいのではないか。 ・ 大人用問15と子ども用問8は関連づけて検討する項目だと考えるが、選択肢の量に差があるので、どちらかに統一する方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末尾の表現を統一したほうが読みやすいと思うし、統一するためには「こと」が便利であると考えます。 ・ 大人用の問15と選択肢を統一します。
10 (小学生9)	9	最近1年間、地域での参加や行動をしたことがあるか	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設問の「地域」とは、町内だけの活動ではなく、町内と学校が連携して行った活動に参加したということも含んでいるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が連携したものも含まれます。
11 (中高生用)	10	ボランティア活動をしたことがあるか	同上		
11-1 (中高生用)	10-1	(したことがある人)どんなボランティア活動をしている(したことがある)か	新規		
11-2 (中高生用)	10-2	(したことがない人)ボランティア活動をしたことがない理由	新規		
12 (小学生10)	11	市内の施設で利用したことがあるものはどれか	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかの施設が一括されている選択肢(2:動物園、水族館、科学館など)について、施設ごとに分割したほうがよいのではないか。それとも、芸術、文化、スポーツなど大きく分類して聞いているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用よりも、種類・分野の利用度を尋ねる趣旨の設問です。
13 (中高生用)	12	さっぱりは子どもが体験しやすい環境だと思うか	新規、子ども未来プラン指		
14 (中高生用)	13	今まで最も強く影響を受けたのはだれか	青少年基本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最も強く影響を受けたという表現は、小学生には答えにくいように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生用からは設問を削除します。
一緒に暮らしている保護者とのことについて					
15 (小学生11)	14	保護者の中でよく話をするのはだれか	青少年基本調査に類似項目あり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生には、保護者という表現よりも大人としたほうがわかりやすいのではないか。 	
16 (小学生12)	15	保護者の中でふだんあなたのことをよく分かってくれているのはだれか	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生には、保護者という表現よりも大人としたほうがわかりやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生用の、設問に関する大項目のタイトルについて、表現を「お父さんやお母さんなどの保護者」と修正します。
17 (小学生13)	16	あなたと話をするときの保護者の態度について次のような不満を感じたことはあるか	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生には、保護者という表現よりも大人としたほうがわかりやすいのではないか。 	

インターネットについて					
18 (小学生20)	17	パソコンや携帯でインターネットを利用しているか	新規		
18-1 (小学生20-1)	17-1	市のホームページを利用したことがあるか	新規		
困ったときに相談などができるところについて					
19 (小学生14)	18	アシストセンターを知っているか	新規		
20 (小学生15)	19	相談機関で知っているところや利用したところのあるところ	新規		
21 (小学生16)	20	どのようなところであれば相談してみようと思うか	新規		
子どもの権利について					
22 (中高生用)	21	生活全体を考えたときに、札幌市では、子どもの権利は守られているか。	新規、子ども未来プラン指標	・他の問いは、「あてはまるものに」となっているのに、ここにきて「番号にをつけてください」となっているので、統一したほうが良い。	・表現を統一します。
				・唐突に子どもの権利に関する意識を問うている気がします。子どもの権利って何だろう、と聞かれている方は思っているのではないのでしょうか。後に具体的な個々の権利に関する意識を尋ねているわけですから、大人用で同じ趣旨の問20も含めて削除していいように思います。	・端的に子どもの権利の保障の実感を把握する指標として設けるべきだと考えます。
23 (小学生17)	22	子どもの権利条例を知っているか	新規	・他の問いは、「あてはまるものに」となっているのに、ここにきて「番号にをつけてください」となっている	・表現をで統一します。 ・条例の認知度を4段階に細分化する形で修正しています。
23-1 (小学生17-1)	22-1	何で知ったか	新規		
24 (中高生用)	23	条例に定められている権利で守られていないものはどれか	新規	・18「意見表明権」の質問項目について、意見表明について、家庭、学校、施設、市政の4つの場を一括して意見表明できているか尋ねているが、4つの場面ごとに分けて、それぞれの場面で意見表明できているかどうか尋ねる独立の質問にしたほうが良い。	・意見表明権については、大人用問10に対応する設問を追加します(中高生用には問25、小学生用には問18を追加しました)。
				・選択するのが「守られていないと思う」権利になっているが、「権利が守られていると思いますか。」と聞いているので、守られていると思うものに をつけたほうが良いと思う。	・「守られているもの」、「守られていないもの」のいずれを選択するにしても、各自にとって印象の強いものにだけ が付いてくると考えられます。特に対策が必要なもの(守られていないもの)を把握できた方が良いと考えますが、「守られているもの」を聞いた場合、 のついていない項目が数多く発生し、特に対策が必要なものがどれなのかが判断しにくくなる恐れがあると考えます。
25 (小学生18)	新規追加	自分の考えや思いがあるときに、言うことができるか		・18「意見表明権」の質問項目について、意見表明について、家庭、学校、施設、市政の4つの場を一括して意見表明できているか尋ねているが、4つの場面ごとに分けて、それぞれの場面で意見表明できているかどうか尋ねる独立の質問にしたほうが良い<再掲>。	・意見表明権については、大人用問10に対応する設問を追加します(中高生用には問25、小学生用には問17を追加しました)<再掲>。
26 (小学生19)	24	子どもの権利や子どもに関係する事業で知っているものはどれか	新規		・アシストセンターの土曜日の会館についての項目を追加しています。
札幌のまちについて					
27 (中高生用)	26	札幌市が今後どのようなまちになってほしいか	新規	・「札幌市が今後」とあるが、「札幌市がこれから」としたほうがわかりやすいのではないか。	・表現を修正しました。
				・選択肢の中に、その他の欄を追加してはどうか。	・どの項目も今後充実を図る必要があるものですが、ニーズを測る意味で3つを選択してもらうことにしており、その他欄で多彩な意見をもらうことは、この趣旨にそぐわないと考えます。